



- ・秀逸な道って、ナニ！？(1.2ページ)
- ・札内川ダムフラッシュ放流！(2.3ページ)
- ・とがち道の駅スタンプラリー開催中！
(3ページ)



国道273号 三国峠が
「秀逸な道」に認定されました！



「秀逸な道」ってナニ！？



「秀逸」…他のものよりぬきんでてすぐれていること



つまり、魅力的な道！！

三国峠の美しい景観を
ぜひお楽しみください。



令和3年7月15日、シーニックバイウェイ北海道推進協議会が特に魅力がある景観等を有する道路に対して認定している「秀逸な道」に、十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート内の、国道273号（上士幌町）の延長13kmが認定されました。

「秀逸な道」は現在、道内で12箇所あり、十勝で認定されたのは今回が初めてです。週末、秀逸な道をドライブして、魅力ある景観を楽しんでみてはいかがでしょうか！？そして、皆さんの通った「秀逸な道」をシェアしてください！

#札内川ダム フラッシュ放流を実施しました！



札内川ダムで、6月22日から6月24日にかけて、年に1度行っているフラッシュ放流を行いました。本放流は、洪水期に備えダムの容量を確保するために行っています。また、放流を活用し、河道内の砂や礫をかくらんし、ヤナギの河床への定着を抑制し札内川の礫河原再生を図ります。

帯広開発建設部公式ツイッターにて放流の映像が投稿されていますので、気になった方は是非、過去の投稿を御覧ください！

→https://twitter.com/mlit_hkd_ob

礫河原再生??

礫河原↓



昭和53年撮影
KP35付近
広い礫河原が見られる札内川



平成17年撮影
KP35付近
主流路沿いに礫河原が
見られる札内川



平成22年撮影
KP35付近
礫河原がわずかとなった札内川



平成28年撮影
KP35付近
一時的に礫河原が広がった札内川

札内川は、礫河原を必要とした多種多様な動植物が生育し、流域に住む方々の河川利用も盛んです。しかし、近年、河道内の樹林化が著しく、かつて河道内で広く見られた礫河原が急速に減少しており、問題となっています。ダム放流によってヤナギの定着を抑制し、礫河原の再生を図ることで、札内川特有の河川環境・景観の保全を行っています。



とち道の駅

スタンプラリー2021開催中!

スタンプ用紙に16箇所の道の駅のスタンプをすべて押印し、応募すると、とち道の駅特産品セットが抽選で32名様に当たります!是非、とち管内の道の駅で名物グルメを堪能し、特産品をゲットしてください!

【開催期間：7月1日～11月3日】

また、新得町、本別町、足寄町、陸別町にはポケ蓋が設置されていますので、訪れた際には探してみてください!ポケモンかわいいですよー!!!

